

評価シート（年度評価）

名古屋市公会堂の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	K N S 共同事業体		
主な業務内容	名古屋市公会堂の管理		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和7年4月～令和12年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	◎	ホール利用率が計画値を4.4ポイント上回っている。
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

親子向け体験企画を新たに企画し、子どもと保護者が参加しやすい体験型事業として開催し、公会堂の認知度向上と新規来館者の獲得に寄与した点が評価できる。

また、ネーミングライツスポンサー企業と良好な関係を構築し、使用枠の有効活用を主体的に提案し、名古屋フィルハーモニー交響楽団の公演実施に結び付けた点も評価できる。

加えて、集会室でのポケットWi-Fi無料貸出サービスの開始、英語版パンフレットの作成、館内ガイドツアーの実施など、利用者ニーズを踏まえた利便性向上と愛称定着・魅力発信に取り組んでおり、概ね高い利用率の維持にもつながっている点が評価できる。

施設の現状

公会堂

施設の現状	施設概要							
	市民文化の向上及び住民福祉の増進を図るため設置された施設です。具体的には大ホール、4階ホール等施設の貸出や、施設の魅力発信や文化振興のための主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円) (7年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	67,917	7,285	75,202	0	8,855	66,347	75,202	146,723
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	利用率(大ホール)		%	81.9	88.7	89.5	91.1	
	収支率		%	62.5	65.2	72.0	73.4	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載